

統計教育指導を進めて

名古屋市統計教育研究会（名統研）

特別活動部会

1 名統研 特別活動部会のあゆみ

- 1972（昭和48）年4月1日設立。
- 名統研は社会科、算数・数学科、理科、特別活動の4部会で構成され、交流しながら、研究推進を行っている。
- 毎年、「統計教育指導事例集」と「統計教育会報」を発行し、研究発表会において各部会が実践発表を行う。
- 活動の様子をホームページに載せて研究の成果等を情報発信している。
www.tcp-ip.or.jp/~meitoken/
- 愛知県統計教育研究協議会（愛統研）発行の「愛知の統計教育」への寄稿及び研究発表会での実践発表を行う。

2 特別活動における統計教育

身の回りの情報の中から、目的に合った情報を収集し、情報を適切に統計的に処理し、分析した結果を実践活動に生かす能力の育成が重要である。

3 研究実績

令和2・3年度 愛統研 研究発表会 紙上発表

一人一人が見つけた学級の課題を項目別に数値化したグラフを基に、学級全体で取り組む課題を考え、解決策を話し合い、活動計画を立て、実行することができた。

令和4年度 愛統研 研究発表会 実践発表

1年生と6年生の思いを情報として集めて「思いの可視化」を図り、共有できるようにした。互いの思いを共有してイベントの活動計画を立てることで、児童はより生き生きと活動に取り組むことができた。

4 研究主題

身近な情報を 実践活動に生かす特別活動

<重点指導>

- ・ 自分及び自分が所属する集団の問題を見付け、主体的に考え、よりよく解決する力を育てる。
- ・ 他者と協力して活動し、互いのよさや頑張り認め合うことができる力を育てる。

5 令和4年度の実践

-小学1年「ようこそ！秋のテーマパーク」の実践を通して-

<実践内容>

児童の「頑張る」という思いを共有するため、「一緒に」「準備」などの6要素に分け、その達成度を示す「1-1が



【1-1 がんばりメーター】

んぱりメーター」を児童と共に作成し、話し合いを行った。特に「一緒に」の要素に注目し、幼稚園との交流会である「ようこそ！秋のテーマパーク」を企画した。遊びグル

ープ、教室デザイングループ、プレゼントグループ、案内グループにそれぞれ分かれて活動を行うことができた。

みんなの思いを分類し、グラフに表して共有し、話し合うという統計的な手法は、児童が仲間と協力して活動したことを実感する上で、有効であると考える。

（令和5年8月作成）